

医療機器の進歩は、検査や治療を安全かつ早く正確にし、患者様の負担を軽減しています。当院では、最新の機器を積極的に取り入れ、安全で的確な治療に繋げています。どんなものがあるのか、診療を支える医療機器の一部をご紹介します。

エントリー No. 1

Discovery MR750w Expert 3.0T

GE社製 3.0T MRI装置

MRIはX線ではなく磁場を利用しているため被ばくを伴わない検査方法。

最高磁力の3テスラMRIを2機導入
従来のものに比べ検査時間は短縮
高解像度画像により、小さな病変も
発見しやすくなり早期発見・早期治療に
繋がっています。

検査室の照明にも明るいLEDを採用し

患者様の緊張感を和らげ、安心して検査を受けられるよう配慮しています。



エントリー No. 2 Icon Elekta社製 ガンマナイフ装置

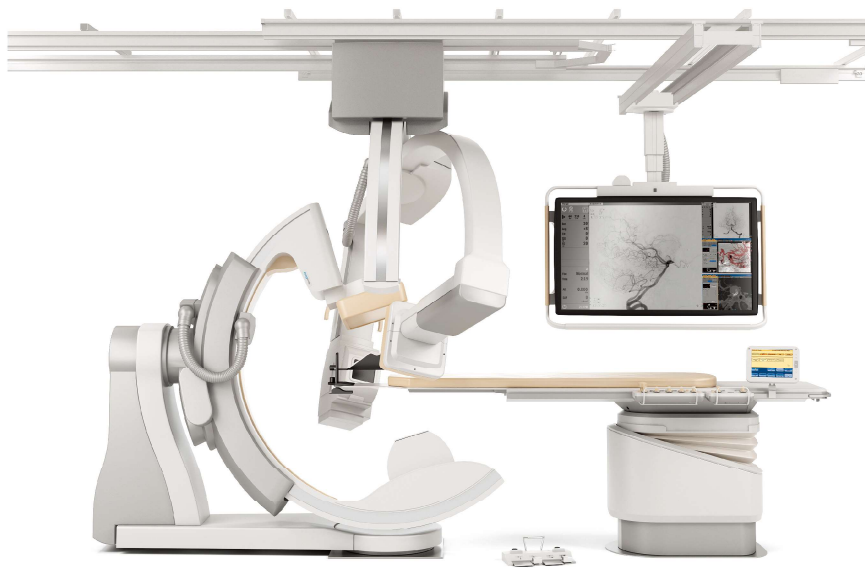
頭蓋内の病変を切らずに治すことができる定位放射線治療装置。

周囲の正常な組織を傷つけることなくあたかもナイフで切り取るかのように目的の部位だけを狙って治療できることから、ガンマナイフと呼ばれています。

当院は2021年8月に機種をアイコンRに変更。

高い精度を保ったまま、いまままで治療が困難だった位置にある病変や、より大きな腫瘍など、様々な症例を治療することが可能になりました。





エントリー No. 3 AlluraClarity

PHILIPS社製 血管撮影装置

従来以上の高画質を維持しながら被ばく量は最大80%減。同時多方向から血管形態を高画質で描写。高性能ワークステーションにより、ほぼリアルタイムに血管の3D画像を表示できます。

当院では、脳血管や下肢血管疾患の治療に使用。

エントリー No. 4 Revolution EVO 64列/128スライス GE社製 CT装置

従来のものに比べ、撮影時間は大幅に短縮し、その速さは全肺2.5秒、肺幹部5秒で撮影完了します。従来と同等画質における被ばく量は85%減。

造影剤検査では、血流・関節などの動態観察等従来のCTでは困難だった情報も得られます。



エントリー No. 5 サーモロン-RF8 EX Edition

山本ビニター社製 ハイパーサーミア装置



ラジオ波を使用し、癌の病巣部の温度を40-45℃程度へ上昇させ、免疫力を活性化するだけでなく、薬物療法と並行することで、がん細胞への薬物の取り込みを高めます。